

先進的事例（住環境整備）：異文化カウンセラーによる留学生のメンタルケア

実施機関名：琉球大学

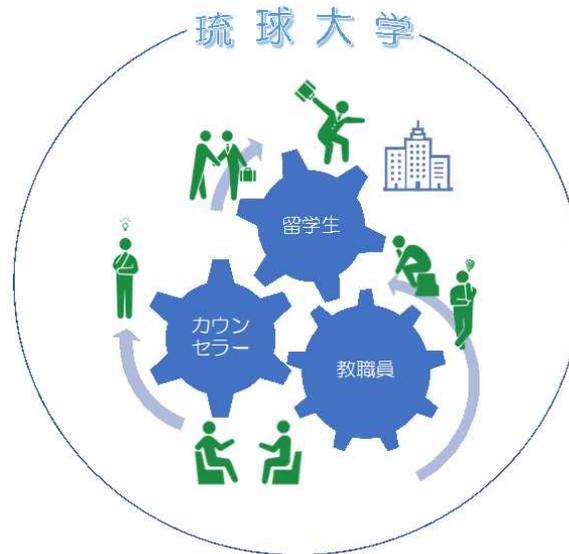
住環境・就職支援の一環として、キャリア・カウンセリングに加え、日本の文化に適應するために必要な異文化カウンセラー（臨床心理士（留学経験者））を配置し、大学生活の中で起こる異文化（言葉、文化や習慣の違い）から起因する様々な問題や悩みを抱えている留学生を対象に、カウンセリングを行っている。

取組のポイント

留学生が生活の中で直面する問題や不安に対して、定期的なメンタルケアによる支援を提供し、留学生の定着を図る

カウンセリングのシステム

異文化カウンセラーが担当
日本語・英語どちらでも対応可能
勉学や生活、人間関係等の悩みに応じる
定期的なカウンセリングを実施
直接面談・電話・Skype 可



異文化カウンセリング

カウンセリング利用状況

琉球大学における実績
過去3年の平均 約54件・87時間

課題と今後の取組

1. カウンセラー＆関係教職員でデータや相談内容の情報共有
2. カウンセリングの要因・効果等の分析
3. 分析結果を学内外・他機関・地域社会へ情報発信
4. 生活・就活環境支援として取組を継続
5. 沖縄県内の大学に異文化カウンセラーの重要性を示し、配置を呼びかける